

第104号

平成21年7月

ほけんだより

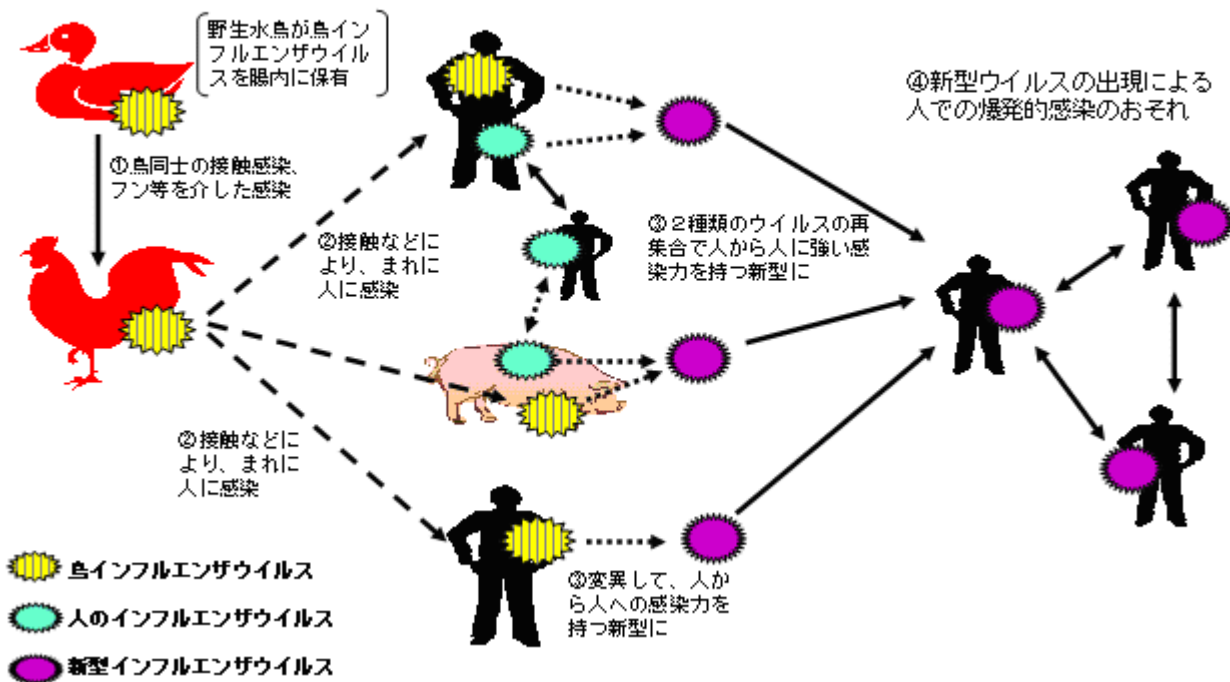
子育て施設課

電話 0823-25-314

新型インフルエンザとは？

新型インフルエンザとは、動物のインフルエンザが人に感染し、人から人へと効率よく感染できるようにになったものです。このウイルスに感染して起きる疾患が「新型インフルエンザ」です。

鳥インフルエンザウイルスと新型インフルエンザウイルスの関係



厚生労働省ホームページより引用

症状は？

咳、鼻汁又は咽頭痛等の気道の炎症に伴う症状に加えて、高熱（38.0℃以上）、熱感、全身倦怠感などがみられます。また消化器症状（下痢、嘔吐）を伴うこともあります。

治療は？

新型インフルエンザの治療としては、通常のインフルエンザの治療にも使用している抗ウイルス剤が有効であると考えられています。

まとめ知識

子どもは身長が低く、飛沫感染のリスクが高い。

子どもは無意識の行動による接触感染のリスクが高い。

子ども同士の集団行動による飛沫感染、接触感染のリスクが高い。

【飛沫感染】 感染した人の咳、くしゃみ、つばなどがしぶきのように口から飛び散り、放出されたウイルスを健康な人が口から吸い込むことで感染します。飛び散る範囲は1m～2mで落下すると言われています。

【接触感染】 感染した人がくしゃみや咳を手で抑えたあとや、鼻水を手でぬぐった後に机やドアのノブ、スイッチなどに触れると、その場所にウイルスが付着することがあり、健康な人が手で触れ、その手で目や鼻、口を触ることにより、粘膜、結膜を通してウイルスが身体の中に入り感染することです。

予防法は？



バランスのよい食事や休養をとり抵抗力を高めましょう



乾燥を避けるため空気の入れかえや加湿をこころがけましょう。



外出後は、うがいや手洗いを日常的に行いましょう。



新型インフルエンザが流行したら感染を避けるため外出は控えることが必要です。



咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためマスクを着用し咳をしている人が近くにいるときにも自己防衛をしましょう。

もしも新型インフルエンザによる発熱が疑われた場合は

- 急な発熱・咳など症状があるときに、直接医療機関を受診すると、万一、新型インフルエンザだった場合、他の患者に感染しまうおそれがあります。まず保健所等（発熱相談センター）に相談しましょう。
- 相談の結果、受診する必要がある場合には、その指示に従って感染症協力機関（発熱外来）を受診してください。

呉市保健所（0823）25-3525

夜間25-3590

ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>